



<平成23年9月>

・この表紙は檀信徒のついでが  
書いてくれました。  
お月見 さつまいも など秋が近づい  
ているようです。

龍正寺  
宝龍会  
護持会

# ♡ 繋がりの中で ♪

お盆も終わりあ、というまにお彼岸ですね。  
皆さんまだまだ暑いので体調には気をつ  
けて下さいね。

少しずつ日が短くなってせみの鳴き声も少  
なくなり秋が近づいているのを感じます今日  
この頃です。

先月「地涌聖」という所から素敵なお札が  
届きました。「供養とは故人の冥福を祈り思  
いやりのある行為。過去の事で終わるのでは  
なく繋がりを大切にあり事。」とありました。

今自分達がいる事はお会いした事もない。こ  
先祖様との繋がりがなければ今現在が  
ないんだなあと距離感がぐらと縮まり。子供  
を持ち育てている中で色々な方と繋がって今の  
自分達があるといふ中で温かい気持ち

ちになりました。

自分もいつかはお迎えがきます。子孫にお盗  
お彼岸と「あのばあちゃん最後まで騒がしかったわー。」  
なんて話をしてもらえるように、毎日を大事にそして子  
供達に伝え教えていかなければいけないなあと  
自分の責任も感じます。

自分達の事が優先な世の中になっ、てしまっ、てい  
るように言われますが大事な事を教わる所も  
場所も知らないのも現実なのかも……しれません。  
お墓も今は場所が狭いからと簡素化されたり、人  
間にとって都合がいいように変わっ、ている気がします。  
形ではなくじが一番大切です。頭でわかっ、ていても  
なかなか難しいですけど。。

私自身もお墓参りに行、た = 自己満足になっ、て  
いるかもしれないなあと思っ、ています。

じの寄り所があ、て人は生きていけると思っ、つ

で、お盆 お彼岸ぐらいは家族みんなで元気の姿を見せてにお墓参りをしたいなあと思います。

人間はいつかお迎えがくる事は誰もさげられません。そして生き物すべてが繋がりにあいいなかさの相身互いなんだと。自分達の都合ではなく生きていきたいですね。

もうすぐお彼岸です。彼岸の入りには七つなったおばあちゃんが大好きだったという五目ご飯をお供えさせてもらおうかなと考えています。皆さんも家族揃ってお墓参りに行ってみて下さい。

きつと心が温まる日が過ごせると思っていますよ。



# ★ 自分の力を信じて — 一度りの人生楽しく生きよう! —

暑かった夏休みも終わり、いよいよ新学期が始まりましたね。皆さんは、どんな8月を過ごされたのでしょうか？

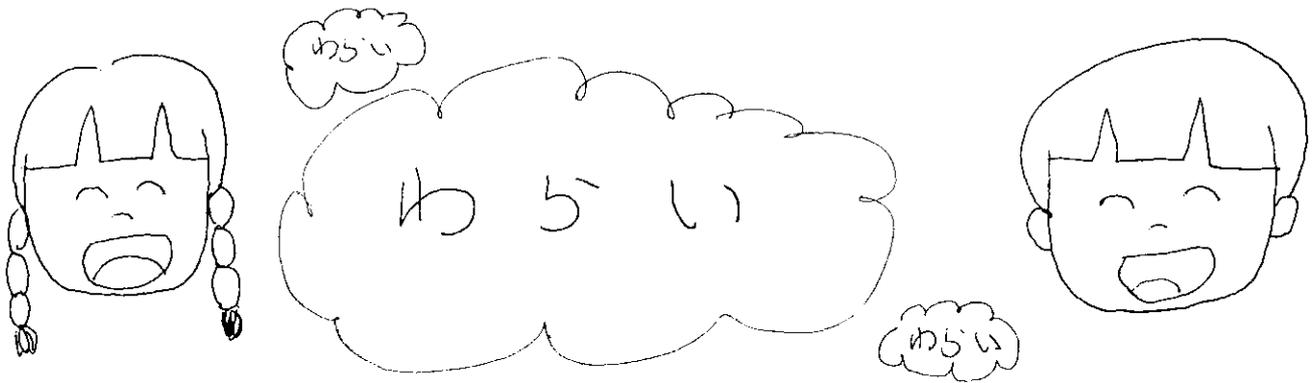
お盆に実家へ行、その時の話です。ふと、カレンダーに目を向けると、「介護予防運動」と書かれた日が何日かありました。私の母親は64歳、弟と2人暮らしなので、迷惑をかけないようにと運動を始めたのかなと思いつながら聞いてみると、ボランティアで60歳以上の方々に運動を教えているとの事。正直ビックリしました。母親はどちらかと言えば他人に気を遣い、遠慮するタイプで、まさか人前に出て何かをするなんて、私には考えられなから、そこからです。今までにも、手話や介護食の勉強、弟にはパソコンも教えてもらっていました。「お母さんの体の年齢、35歳だって!!」と嬉しそうに話す母親から元気をもらいました。そして、『人間やる気になれば、いつでも何でも出来る!』前向きな母の姿に教えられました。

母親の変化には弟の影響もあると思っています。弟は緑内障で片目の視力を無くしました。独学で絵の勉強をし、周りの方々のお陰で、個展も何度か開かせて頂いています。自分の足で一から始め、沢山のご縁を結ばせてもらい、今の彼がいます。始めは「ちゃんと定職に就いてほしい。独学で絵なんて…」

と言、ていつに母でしたにが、弟の強い意志に打たれ、好きはふうにさせてみると決めました。心配と不安からつら口を出してはい、ちつとした喧嘩もししばしばありましたにが、最近では母に優しい言葉をかけてくれるふうになり、手伝いをすすんでしてくれるふうになり、そんな弟の変化に喜ぶ母がいます。「弟が出会う沢山の人達のお陰だね」と話したのを覚えています。

どうして自分だけか... たんて不平不満は口にせず、前向きに挑戦する弟、そして、その姿に影響を受けて積極的に楽しむ母親。私も母や弟のふうに向上げを忘れず、子供達に背中であげていける親になりたいたなと思いました。

お盆の時期にこんな素敵は母の姿が見られるたんて... いつも見守ってくれている父親に「ありがとう」と手を合わせました。



今年の夏も暑い日々が続きましたね。

夫婦で節電対策の為に!? 映画館にせっせと通いました。

暑さをしのぐ事も出来ますし、笑ったり、泣いたり、顔、心の運動も出来ました。

しかし、ある事を強く感じました。それは「笑い」です。

笑うような場面ではない所で笑う人がいるのです。

“何がおかしいの?”、どうしてこの場面で笑えるの?、

人がいじめられたり、苦しみ、悲しみ、命を奪われるような

場面で大笑いする人がいる事に強いショックを受けました。

その経験は一度、二度ではありません。

いつか、笑いの質が変わってしまったのでしょうか?

今、テレビで見るお笑い界のタレント、コメディアンの人々も

人を馬鹿にしたり、容姿をけなしたり、時には人をいじめ

てみんなであげる。それが本当の笑いでしょうか?

心が豊かになり、みんなであー楽しかったね。と言える

笑いでしょうか?

今の子供達がこのような質の良くない笑いの中で大人にならなければならない事に、不安と危機感を強く強く感じます。

人の痛みを感じれるような優しい心を持って育ててほしいと思います。

私達の子供時代と現在では笑いの質の違いに愕然とします。決して世の中がどうか変わるかと人としての心の持ち方、はわからないと思います。

大人の私達が世の中の良い流れに流されないで、しっかりと考えを持ち、子供達を育てて行かなくてはいけないと思います。

映画はこの作品もとても素晴らしい作品でしたよ。

「ロック」は今のこの日本に、作品を観た人々にも元気を活力を与えてくれる作品でした。「こち亀(ちび喜劇区亀有公園前派出所...)」は笑い涙ありの人情ドラマで日本人が大切にしてきた人と人との繋がりがや情けがあり、心があたたかくなる作品でした。

皆さんはどんな時に笑いますか？ 私はよく笑います。

涙を流しながら大笑いする事もあります。「あー楽しい!!」「不愉快!!」とストレスなんか悩みなんかどこかへ飛んで行くような、みんなでの幸せを感じるそんな笑いかいいですね。

## 〜 布教 コーナー 〜

新しい本がはいりました。

「古寺をめぐるこころの法話」シリーズ №10

「久遠寺」

(朝日新聞出版社)

- ・ 古寺をめぐるお坊さんが教える久遠寺
- ・ 僧侶たちが守り伝える日蓮聖人の教え
- ・ 境内に息づく「法華経」と聖人の心
- ・ 日蓮宗 最大の法会・宗祖御会式(1122.10.12~13収録分)など

内野日統法主のご挨拶・吉村明悦上人の法話、勤行などの収録されたCDもついています。

本の前半はカラー写真で身延山久遠寺を目で楽しんで、後半はCDを聞きながらページを開いて行くと、梵鐘、お題目を唱える声そして団扇太鼓、大太鼓……。心の中は「久遠寺」で参拝している気分です。

是非 手にして、見て、読んで、聞いてみて下さい。

# < 9月の予定 >

9月5日(月) ?	各々の時間ご	清掃・準備活動
12日(月)		お供物準備
13日(火)	終了後	片付け・清掃・準備活動
14日(水) ?	各々の時間ご	清掃・準備活動
17日(土)		お供物準備
18日(日)	終了後	片付け・清掃準備活動
19日(月) ?	各々の時間ご	清掃・準備活動
22日(木)		〃

# < 寺院行事内容 >

9月13日(火)	午前10時より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗祖日蓮聖人報恩会</li> <li>・龍口法難会</li> <li>・大古久尊天祈願会</li> </ul>
9月18日(日)	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼子母尊神・七面大明神 祈禱会</li> <li>・七面大明神大祭法要</li> </ul>
〃	午後2時より	役員会
9月23日(金)	午後1時半より	秋季彼岸中日法要会